



(別添)

2021年8月26日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中 部 支 所

News Release

自然災害時にまさかの製品事故！？ ～停電時のCO中毒にも注意！～ ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集した停電時でも家電が使える携帯発電機やポータブル電源、お湯が沸かせるカセットコンロ、ろうそくの点火や火起こしに便利なライター、今や必須の情報収集手段であるスマホを充電できるモバイルバッテリーなど、災害時に活躍が期待される製品による事故情報^{※1}は、東海地方4県(静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県)では、2011年度～2020年度までの10年間に合計9件^{※2}あり、そのうち火災が4件(44%)、一酸化炭素(CO)中毒が1件(11%)となっています。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。
(※2) 2021年6月末日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

1. 災害時に活躍が期待される製品事故の発生状況

(1) 東海4県の年度別 事故発生件数

表1に災害時に活躍が期待される製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 災害時に活躍が期待される製品の「県別」及び「年度別」の事故発生件数(単位:件)^{※3}

| 年度 ^{※4} | 静岡県 | 愛知県 | 岐阜県 | 三重県 | 総計 |
|------------------|-----------------|----------|----------|-----|-----------------|
| 2011年度 | 1 (1) | 0 | 0 | 0 | 1 (1) |
| 2013年度 | 0 | 3 (1) | 0 | 0 | 3 (1) |
| 2014年度 | 0 | 1 | 1 (1) | 0 | 2 (1) |
| 2017年度 | 2 [1] | 0 | 0 | 0 | 2 [1] |
| 2018年度 | 1 (1) | 0 | 0 | 0 | 1 (1) |
| 合計 | 4 (2) [1] | 4 (1) | 1 (1) | 0 | 9 (4) [1] |

(※3) ()は火災件数。[]は一酸化炭素(CO)中毒。

(※4) 2012年度、2015年度、2016年度、2019年及び2020年度の事故発生件数は0件でした。

(2) 東海 4 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に災害時に活躍が期待される製品の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表 2 災害時に活躍が期待される製品の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※3

| 被害状況※5 | | 静岡県 | 愛知県 | 岐阜県 | 三重県 | 合計 |
|--------|------|-----------------|----------|----------|-----|-----------------|
| 人的被害 | 死亡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 重傷 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 軽傷 | 2 (1) [1] | 1 | 0 | 0 | 3 (1) [1] |
| 物的被害 | 拡大被害 | 1 (1) | 1 (1) | 1 (1) | 0 | 3 (3) |
| | 製品破損 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | | 4 (2) [1] | 4 (1) | 1 (1) | 0 | 9 (4) [1] |

(※5) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 東海 4 県の災害時に活躍が期待される製品の県別及び製品別 事故発生件数

表 3 に災害時に活躍が期待される製品の「県別」及び「製品別」の事故発生件数を示します。

表 3 災害時に活躍が期待される製品の「県別」及び「製品別」の事故発生件数（単位：件）※3

| 製品 | 静岡県 | 愛知県 | 岐阜県 | 三重県 | 総計 |
|-----------|-----------------|----------|----------|-----|-----------------|
| カセットこんろ | 2 (2) | 2 | 0 | 0 | 4 (2) |
| ライター | 1 | 1 (1) | 0 | 0 | 2 (1) |
| 乾電池 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 携帯発電機 | 1 [1] | 0 | 0 | 0 | 1 [1] |
| モバイルバッテリー | 0 | 0 | 1 (1) | 0 | 1 (1) |
| 合計 | 4 (2) [1] | 4 (1) | 1 (1) | 0 | 9 (4) [1] |

2. 災害時に活躍が期待される製品事故の事故事例

(1) カセットこんろ

外部からの過熱による発火や破裂

2011年11月（静岡県、50歳代・男性、拡大被害）

【事故内容】

カセットボンベが破裂し、カセットボンベを装着したカセットこんろを焼損する火災が発生した。

【事故原因】

カセットボンベを装着したカセットこんろを、石油ストーブの天板上に置いたまま、石油ストーブを点火したため、カセットボンベが過熱され、内圧上昇により破裂に至ったものと考えられます。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】

カセットこんろ、カセットボンベ

(2) ライター

異物挟み込みによる残火

2017年10月（静岡県、50歳代、男性、重傷）

【事故内容】

事業所の休憩所でライターを使用後、衣服のポケットに入れたところ、衣服が燃えて火傷を負った。

【事故原因】

ライターの風防内に異物が認められたことから、風防内のノズル付近に異物が付着してノズルが戻らなくなり、残火が生じて事故に至ったものと考えられます。

なお、本体表示には、「消火を確認する。残火、ガス漏れの原因となる異物混入のないことを確認する。」旨、記載されていました。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】

ライター、残火

(3) 携帯発電機

換気不十分による一酸化炭素(CO)中毒

2017年11月（静岡県、40歳代、男性、軽傷）

【事故内容】

工事現場で携帯発電機を使用中、一酸化炭素(CO)中毒で3名が軽症を負った。

【事故原因】

携帯発電機を換気が十分に行えない困まれた作業空間で使用したため、携帯発電機の排気ガスによって一酸化炭素(CO)中毒になったものと考えられます。

なお、本体表示及び取扱説明書には、「排気ガスは一酸化炭素等の有害成分を含んでいる。室内、トンネル等の換気の悪い場所、遮へい物で風通しの悪い場所等の排気ガスがこもる場所で使用しない。」旨、記載されていました。

【SAFE-Lite 検索キーワード例】

発電機、一酸化炭素、CO

事故品・事例を確認**○過去にどのような事故が発生しているか確認する。**

NITE はホームページで製品事故に特化したウェブ検索ツール「SAFE-Lite (セーフ・ライト)」のサービスを行っております。製品の利用者が慣れ親しんだ名称で製品名を入力すると、その名称(製品)に関連する事故の情報が表示されます。

また、上記事故事例の【SAFE-Lite 検索キーワード例】で例示されたキーワードで検索することで、類似した事故が表示されます。



<https://www.nite.go.jp/jiko/jikojoohou/safe-lite.html>

3. 災害時に活躍が期待される製品事故の実験映像について

災害時に活躍が期待される製品事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「NITE (ナイト) ・中部支所」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 山本 耕市

担当者：横田 勝、横山

電話：052-951-1933、FAX：052-951-3902、携帯：080-3736-7515

以上